

第5学年国語科学習指導案

平成18年 9月28日(木) 5校時

第5学年 男12名 女16名 計28名

指導者 奥玉 規彦

- 1 単元名 二 目的に応じた伝え方を考えよう
教材名 ニュース番組作りの現場から(光村図書・下)

2 単元設定の理由

(1) 児童について

これまで児童は、説明的文章の学習として、5年生では「サクラソウとトラマルハナバチ」で、内容を的確に読み要旨をとらえ、それに対する自分の考えを持つ学習をしている。また、4年生では「『伝え合う』ということ」「生活を見つめて」、5年生では「言葉の研究レポート」で情報を発信する学習をし、調べ、整理し、発表する活動を行ってきた。

日常の国語の学習の様子を見ると、説明的文章の読み取りの学習については、叙述に即した基本的な読み取りはできている児童が多い。また、情報を発信する学習においても、関心を示し、意欲を持って取り組む児童が多い。しかし、伝えたいことがはっきりしていなかったり、資料の文をそのまま写したりするなど、話題を見つけたり、それを取材し、編集したりする力は、まだ十分身に付いていない。したがって、「読み取った内容を次の情報の発信の方法として生かしていく」という本単元の学習は、児童にとって適切で、時宜をえた学習活動であるといえる。

交流の場については、友だちの考えを聞き、自分の考えとの共通点や相違点に気づくことはできるが、理解を深めるために、質問を重ねたり、適切な意見を言ったり、というような深みのある交流活動は十分にできているとはいえない。

(2) 教材について

第5・6学年における「読むこと」の目標は「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本単元では「必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること」について扱う。

本単元では、本教材「ニュース番組作りの現場から」に書かれている内容が、その後の「工夫して発信しよう」の活動のための手引き、あるいは解説ともなっている。

本教材はニュース番組の特集の作り方を追って、ニュースが人々に伝えられるまでをまとめた説明的文章であり、文章構成は「話題提示」「説明」「まとめ」となっている。時間に沿って、報道スタッフの役割や情報収集、編集会議のあり方、伝えたい内容の絞り込み方などがわかりやすく整理され、論理的に展開されている。従って、番組の作り方に関する情報提供としてだけでなく、時系列に沿って大事な事柄に注意して読み取る文章としても適している。また、番組の作り方だけでなく、ニュースを作る人々の思いや願いも読み取ることができる。そしてここで学んだニュース番組作りの過程で読み取ったことが「工夫して発信しよう」「編集して伝える」の学習に生かされていく。

(3) 指導に当たって

単元指導過程の「つかむ」段階では、まず、単元名から学習内容を予想させるとともに、本教材と次の「工夫して発信しよう」の関連に着目させる。本教材で読み取ったことを、次の情報発信の学習に生かしていくことを念頭におきながら読み取っていくことを確認する。そのあと、文章構成をつかみ学習の見通しを持たせるために、「特集」が作られていく「過程」を表にし、書かれている内容の

本教材では、「特集」が作られていく「過程」をキーワードにし、段落ごとに書かれている内容を読み取っていく。それぞれの「過程」の表に整理するとともに、文章構成をつかみ、学習の見通しを持たせたい。また、この表はこの後の「読み取る」段階でも使用していきたい。

「読み取る」段階ではまず、特集に取り上げられた話題がデスク「おどろき」と「疑問」が出发点であったことをしっかりとおさえたい。これが、その後の取材活動へとつながっていくからである。そして伝えたいことを確実に伝えるために、撮影の工夫がなされ、編集され、放送原稿の作成の工夫がなされ、放送されることを理解させていく。

「まとめる」段階では最終段落の叙述に即してこれまで学習してきた内容を教科書と表を基に振り返る。それを基に要旨をとらえさせたい。

そして、続いて学習する「工夫して発信しよう」では、本教材で学習したことを手がかりとしながら、班ごとに取り組むニュース番組作りにつながっていく。

一人読みや交流を内容のあるものにするために、学習に必要な資料収集や事前調べの支援を行う。また、努力を要する児童へは、一人読みの段階で支援を行い、交流に自分の考えをしっかりと持って参加させるようにしたい。また、交流の場においては、「友だちの考えをよく聞き自分の考えを深め、広げる」という学習姿勢を、常に持たせていく。

(4) 研究仮説にかかわって

仮説1にかかわって、本教材では、ニュース番組が作られていく「過程」をキーワードにして学習を進めていく。全体を通じての課題を「番組作りのそれぞれの過程で、大事なこと、気を付けることはなんだろう」とし、各過程における学習では、それに沿って一人読みをさせる。一人読みでは、「過程」を表す言葉や大事なこと、気をつけることが書かれている部分にサイドラインを引かせたり、意味を考えさせたりすることが中心となる。

仮説2に関わって、交流の場では、一人読みで気づいたことや考えたことを持ち寄り。始めは学習班の単位で、それをもとに次は学級全体で交流させていく。班の交流においては、友だちの考えを聞くことにより、一人読みを深め、広めることをねらいにし、全体の交流においては、班での交流において自分が学んだことについて発表させたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 単元の目標

必要な情報を得るために、

〔関心・意欲・態度〕教材文からビデオニュース作りに必要な情報を積極的に得ようとしている。

〔読むこと〕ビデオニュース作りに必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫することができる。(オ)

〔言語事項〕展開の仕方、順序に沿った述べ方など、文章の形態によって構成の仕方は変わってくることについて、文章の実際に即して構成の工夫を見出していくようにすることができる(オ)

(2) 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読むこと	言語についての 知識・理解・技能
・教材文が自分のビデオニュース作りにとって必要な情報であることを理解し、積極的に情報を得ようとしている。	・ビデオニュース作りに必要な情報を得るために、テレビニュースの特集がどのように作られているかを読み取ることができる。	・キーワード、時間の順序を表す言葉、段落ごとの重要語句、接続語、文末表現などから文章の構成をとらえ、その工夫を見いだしていくことができる。

4 指導計画（14時間扱い・読むこと8時間）

読 み て の た い 力		<ul style="list-style-type: none"> ・初めて知ったこと興味を持ったことを意識しながら主体的に読もうとする。 ・順序、過程を意識しながら内容の大体を読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りのそれぞれの過程で大事な点や気をつけることをキーワードをもとに読み取るうとして読む。 		
活 動 の 流 れ	<p>< 4年 > 「『伝え合う』ということ」 「生活を見つめて」 < 5年 > 「言葉の研究レポート」 ・調べ、整理し、発表する。</p> <p>< 4年 > 「四年三組から発信します」 ・材料を選ぶことに焦点をあてた学習</p>	<p>「大原さんのグループのビデオニュース」を読み、情報発信の学習であることを知り、「ニュース番組作りの現場から」を読んで学習の見通しを持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようにしてビデオニュースを作るのだろうか ・「特集」はどのように作られているのかを知るためには何を見ればいいのか。 ・「特集」を作るためにはどんな「過程」があるのかな。 	<p>学習課題に沿って、「過程」を表す言葉に目をつけて特集がどのように作られているかを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題はどのようにして決まるのかな。 ・取材ではどんなことがわかったのかな。 ・一番伝えたいことはなんだろう。また、それを伝えるためにどんな工夫をしているんだろう。 	<p>「ニュース番組作りの現場から」で読み取ったことを基に、ビデオニュースを制作する。</p>	
段 階	事 前	つ か む (3 時 間)	読 み 取 る (4 時 間) ・ ま と め る (1 時 間)	広 げ る (6 時 間)	事 後
学 留 習 意 活 点 動 交 流 の 場	<p>< 4年 > 「『かむ』ことの力」 < 5年 > 「千年の釘にいどむ」 ・段落ごとに大事なことを読み取る。</p> <p>< 5年 > 「サクラソウとトラマル ハナバチ」 ・内容を的確に読み要旨をまとめる</p>	<p>「大原さんのグループのビデオニュース」を読みこれから情報発信の学習をしていくことを知る。</p> <p>全文を読み感想を持ち、学習の見通しを持つ。段落ごとに過程を表に整理し、概要をつかみ、文章構成をとらえる。</p> <p>ビデオニュースには話題、映像、原稿、伝えたいことなどがあることを知る</p> <p>全文を音読し感想を書き、課題と課題解決の方法を知る。</p> <p>番組作りの過程を段落ごとに知る。</p> <p>番組作りの手引き書になるのが、「ニュース番組作りの現場から」であることを押さえる。感想、リード文、1段落から課題と課題解決の方法を考える。</p> <p>番組作りの過程の言葉を確認しながら、段落ごとにどの過程の部分かを考える。</p>	<p>話題の決定と取材の方向性の決定の過程を読み取る。(本時)</p> <p>取材の過程でわかった内容を読み取る。</p> <p>撮影と編集の過程を読み取る。</p> <p>原稿と放送の過程を読み取り、最も伝えたかったことを知る。</p> <p>まとめの段落を読み取り、報道スタッフの願いを知り、要旨をとらえる。</p> <p>「おどろき」「多くの関心をよぶ」「疑問」について読み取る。</p> <p>実際に富士山が噴火した場合について交流する。</p> <p>疑問の答えを読み取る。</p> <p>撮影の工夫と、編集を読み取る。</p> <p>放送原稿の工夫と、最も伝えたかったことを読み取る。</p> <p>どんなビデオが流れ始めたのかを交流し合う</p> <p>まとめの段落を既習の段落と重ね合わせながら読み取る要旨をまとめる</p> <p>段落ごとに大事な言葉を押さえまとめる。</p> <p>接続語、文末表現にも目をつけさせる。</p>	<p>～ 「ニュース番組作りの現場から」で読み取ったことを基に、自分が伝えたいこと、相手が知りたいことを考えて、情報を発信する。</p>	

<p>評価 規 準</p>		<p>(関)「ビデオニュース作り」に興味を持ち、映像、音声などが必要であることを理解している。(関・読)ノートに感想を書いている。課題と解の方法にサイドラインを引いている。(教科書・ノート発言・挙手)</p> <p>(読)過程を表に記入している。(ワークシート・発言・挙手・)</p>	<p>～ (読)時間の順序に沿って「過程」というキーワードを基に ニュース番組の「特集」がどのように作られているかわかる部分にサイドラインを引いたり、表に記入したりしている。(教科書、ワークシート、挙手、発言)</p> <p>(読・書く)大事な言葉を使いながら要旨を書く。(ワークシート)</p>	<p>～ (書)自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信する。・編集作業を通して、書く必要のある事柄を整理する。・集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝える。</p>	
-----------------------	--	--	--	--	--

5 本時の指導

(1) 本時の目標

話題の決定から取材の方向性の決定までの過程を読み取ることができる。

(2) 研究仮説に関わって

仮説1 「話題」や「取材の方向性」がどのように決定されているかわかる部分にサイドラインを引かせる。また、富士山初の防災訓練がどうして多くの人の関心を呼ぶかを一人読みで考えさせる。

仮説2 本時の交流の場を以下のように設定した。

目的・・・富士山初の防災訓練がどうして多くの人の関心を集めるのかを、理解するため。

相手・・・班

内容・・・富士山初の防災訓練がどうして多くの人の関心を集めるのかを、必要に応じて地図帳や資料等を参考にしながら考え班で意見を出し合い、班で出た意見を全体の場で発表する。

方法・・・一人一人自分の考えを発表し、質問をし、参考になるところはメモを取る。

(3) 展 開

段階	学 習 内 容	指導上の留意点 支援 評価
つ か む 5 分	1 前時を想起する。 (1) ニュース番組作りの過程を確認する。 ニュース番組作りの過程を確認しよう。 2 学習課題を把握する。 (1) 話題とがどのように決まるかということに疑問を持つ。 みんながビデオニュースを作るときにはどのようにして話題を決めればいいですか。	実際のビデオニュース作りに役立てるための読み取りであることを確認する。 前時に作り、掲示してある表を読み、過程を確認する。 課題を確認する。 話題が決まり、その後、取材の方向性が決まっていくことを確認する。
どのようにして話題と取材の方向性は決まるのだろう。		

<p>読み取る</p> <p>28分</p>	<p>3 学習の見通しを持つ。 (1) 学習場面を音読する。</p> <p>4 読み取る。 (1) 話題の決め方を読み取る。</p> <p>どんな話題が特集として取り上げられるのでしょうか ・デスク が驚く話題 ・多くの人の の関心をよぶ話題</p> <p>(2) 富士山 初の防災訓練が多くの人の関心を集めたのかを考える。 どうして富士山初の防災訓練が多くの人の関心を集めたのだろうか。 ・日本一有名な山だから ・日本一高い山だから大災害になるから ・すそ野が広くいろんな県にまたがっており被害が広範囲に及ぶから ・首都圏に比較的近いから</p>	<p>2, 3段落を指名読みさせる。 事前に家庭学習等でも音読の練習はさせておく。</p> <p>事前に「報道スタッフ」「デスク」「支局」「ディレクター」等の用語は調べさせておく。 黙読</p> <p>させサイドラインを引かせる。 机間指導をし、必要な児童には支援する。 ど</p> <p>どんな話題が特集として取り上げられているかわかる文にサイドラインを引いているか。</p> <p>(観察、挙手、発表)</p> <p>教科書の新聞の写真にも触れ、多くの人の関心をよぶ話題が取り上げられていることを確認する。 富士山</p> <p>初の防災訓練に対する「おどろき」や、それが「多くの人の関心を呼ぶ話題」であることを本質的に理解させたい。そのため、富士山の噴火が多くの人の関心をよぶ理由を必要に応じて地図帳や資料を見ながら考えさせ、ワークシートに書かせる。</p> <p>指導が必要な児童には、教師の方から具体的に質問をし考えさせる。 関心を呼ぶ理由についてワークシートに書いている。(ワークシート)</p>
------------------------	--	---

	<p>5 交流する</p> <p>(1) 初の防災訓練が多くの人の関心を集めたのかを知る</p> <p>ワークシートに書いた自分の考えを班の人たちと交流しよう。参考になることはメモしておこう。</p>	<p>自分で調べたことを班で発表し合う</p> <p>自分で考えとの共通点や、新たな気づきなどをメモを取りながら聞くようにさせる。</p> <p>関心を呼ぶ理由を発言したり、メモを取っている。(ワークシート、観察、発表)</p> <p>出された考えを板書する。</p> <p>メモを見ながらワークシートに書かせる時間を取る。</p>
	<p>話し合っってわかったことをことを発表しましょう。</p> <p>(一人学びの内容と同じ)</p> <p>話題が決まった後、まず何から取材しようとしたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ訓練がなかったのか ・なぜ訓練をすることになったのか ・二つの疑問 	<p>話し合いの様子とともに、自分の考えの変容なども発表させる。</p> <p>何から取材しようとしたかわかる文にサイドラインを引いている。(観察、挙手、発表)</p> <p>大事な語句を板書し、まとめにつなげられるようにする。</p>
<p>ま</p> <p>と</p> <p>め</p> <p>る</p> <p>12</p> <p>分</p>	<p>6 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の学習のまとめをする。</p> <p>学習のまとめをしましょう。</p> <p>デスクのおどろきから話題が決定され、疑問から取材の方向性が決定される。</p> <p>ワークシートに「おどろき」「話題」「疑問」「取材の方向性」という言葉を使ってまとめている。</p> <p>(2) 単元全体のねらいに沿ったまとめをする。「ビデオニュース」を作るときに今日の勉強の中でどんなことが役立ちそうですか。</p> <p>7 次時の予告をする</p> <p>次時は取材の結果わかったことを読み取ります。</p>	<p>課題に戻り、板書をたどりながらワークシートにまとめさせる。</p> <p>ワークシートに「おどろき」「話題」「疑問」「取材の方向性」という言葉を使ってまとめている。</p> <p>実際の「ビデオニュース」作りと関係づけながら発表している。</p>

(4) 評価

評価目標	具体の評価規準		
	A 十分満足	B 概ね満足	C 努力を要する 児童への手だて
話題の決定から取材の方向性の決定までの過程を読み取ることができる。	「話題」「取材の方向性」がどのようにして決まるかを読み取り、まとめの文を正確に書いている。また、実際の「ビデオニュース」作りに役立てようとしている。	「話題」「取材の方向性」がどのようにして決まるかを読み取り、まとめの文を正確に書いている。	サイドラインを引く場面では机間指導の中で、もう1度2つの段落を読ませるようにする。

【要旨】

番組作りの出発点は、番組作りを行う人、つまり伝えたいと考えた人が驚きや疑問を抱くことである。その驚きや疑問を的確に伝えるためには、綿密な取材が必要であるとともに、取材を通して見えてきた答えを分かりやすく伝えるために編集をし、伝えたいことを中心に明かにしていくことが大切である。

そして制作者は、どの過程においても「伝えたい」「分かってほしい」という願いを持続し、それをふくらませていくことが何より重要である

【段落構成図】



